

Ⅲ. CT 造影剤を使用される患者様へ

- CT 検査の造影剤は安全な薬品ですが、まれに副作用があらわれることがあります。もし副作用があらわれた場合は依頼医が速やかに対応します。副作用の症状には次のようなものがあります。

軽度：発疹 じんま疹 かゆみ 吐気 くしゃみ 頭痛 発赤など

重度：ショック（血圧低下）呼吸困難 不整脈 けいれん 腎不全 意識消失など

- 造影剤は静脈内に注射しますが、静脈には個人差があり造影剤が血管外に漏れやすい体質の方がおられます。漏れた造影剤は時間とともに吸収されますが、漏れた量によっては必要に応じて処置を行う場合があります。
- 造影剤の副作用として検査後 1 時間～数日後に、動悸や頭痛、じんま疹、発熱、吐き気、めまい、胸内苦もんなどの症状が出る場合があります。これらの症状は軽度で自然に消失しますが、念のため依頼医まで連絡して、指示にしたがってください。
- 造影剤使用後は造影剤の排泄の促進するために水分摂取をお願いしています。お飲み物の種類は何でもかまいませんので、造影検査後は通常よりコップ 1～2 杯ほど多めに水分摂取をお願いします。
- ビグアイド系の糖尿病薬を服用されている患者さんは自身の腎臓機能によっては一時的に服用を中止していただく必要があるため、依頼医にご相談ください。
- 喘息のある方は当院では造影剤を使用した CT 検査は原則禁止とさせていただきます。
- 撮影部位によっては絶食での検査となる場合がありますので、予約の際にご確認ください。